

環(ぐるり)・富士山風景街道説明資料 ~道がつなく地域の魅力~

地域のねらい

日本一の山・富士山の見える道風景と裾野に広がる巡りの道をパートナーシップで守り・創り・情報発信するために、富士山をはじめ富士五湖、富士山周辺市町村など周辺の自然や地域を舞台に活躍する地域づくり団体のネットワークを構築し、一体となって推進する。

基本目標

富士山の見える道風景、
富士山をぐるりと巡る道風景を守り・創り・伝えていく

活動エリアと地域資源



基本ルート

静岡県：富士宮市、富士市、裾野市、御殿場市、
小山町
山梨県：富士吉田市、富士河口湖町、身延町、
山中湖村、忍野村、鳴沢村



富士山や富士五湖、裾に広がる牧場の風景など豊かな自然や良好な眺望景観を有する地域

概ねの活動エリア



富士浅間神社をはじめとし、様々な文化・歴史資源を有する地域 /



国際的なレースが開催される富士スピードウェイをはじめ、多くの観光客が訪れる遊園地や美術館などの観光施設を多く有する地域



環境保全や環境負荷の軽減といった、環境問題に対する多くの課題を抱える地域国道138号沿道

- 富士山とその周辺は、年間約3千万人の観光客が訪れる日本を代表する観光地の一つである。
- 雄大な富士山の眺望と広大な山麓の風景、富士五湖等の景勝地、鎌倉街道、旧登山道等の古街道、浅間神社等の神社仏閣、遊園地や美術館等の観光施設、国際的なカーレースが開催される富士スピードウェイ、さらに特徴のある山麓の暮し等々、多様な魅力に富んでいる。
- しかし、一方で山麓のゴミ問題、火山荒原地帯へのオフロード車・バイクの侵入による植生の破壊等問題を抱えている。
- 「富士山総合環境保全指針(平成8年3月策定)」と行動規範としての「富士山憲章(平成10年11月策定)」に基づき、県民・企業・NPO等と行政が協働し、富士山の環境保全対策を推進している。平成17年度より富士山の世界文化遺産登録の取り組みがスタートし、より一層環境対策が重要となっていく。

環・富士山風景街道の4つの方針

環・富士山の風景価値を高め発信する活動を進める(情報発信)

- 1.環・富士山の景観アイデンティティを高める
- 2.環・富士山をアピールする

富士山麓を磨き高める活動を進める(美化活動)

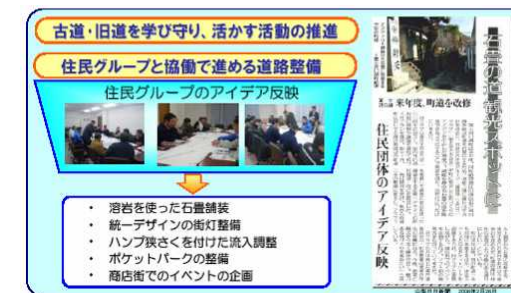
- 1.風景と道を磨くパートナーシップの仕組みづくり
- 2.風景と道を磨くパートナーシップの仕組みづくり

富士山麓のフィールドを活かし・楽しむ活動を進める(眺望・修景)

- 1.富士山の眺望を活かした環境整備

富士山の歴史、文化、風景、暮らしを学び守る活動を進める

- 1.富士山の歴史、古道を学び、守る (自然・歴史・文化学習)
- 2.歴史や自然環境を活かしたルートの創出
- 3.富士山の歴史・文化資源を活かした活動の推進
- 4.暮らしの道の活用と修景



地域の活動推進体制

